



100





忠貞堂

忠貞堂在縣城內，其地甚廣，堂中設神位，祀忠貞堂之神。堂前有一池，池水清澈，映帶左右。堂後有一山，山勢峻峭，雲霧繚繞。堂中有一碑，碑上刻有忠貞堂之神名。堂中有一匾，匾上刻有忠貞堂之神名。堂中有一像，像上刻有忠貞堂之神名。堂中有一像，像上刻有忠貞堂之神名。

忠貞堂

忠貞堂



忠貞堂

忠貞堂在縣城內，其地甚廣，堂中設神位，祀忠貞堂之神。堂前有一池，池水清澈，映帶左右。堂後有一山，山勢峻峭，雲霧繚繞。堂中有一碑，碑上刻有忠貞堂之神名。堂中有一匾，匾上刻有忠貞堂之神名。堂中有一像，像上刻有忠貞堂之神名。堂中有一像，像上刻有忠貞堂之神名。











第一 論學問之重要 夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要



魚之圖

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

一、學問之重要

夫學問者，人之所共貴也。...

...

...

...

...

...

...

...



一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...



其間雖有種種困難，然其目的在於救國，故其手段之激烈，固不足為怪也。且其行動之秘密，亦足以見其組織之嚴密。此種革命之舉，實為國家前途之保障，亦為民族生存之關鍵。故吾人對於此種革命，應持同情之態度，並予以必要之支持。

論革命之必要

夫革命者，國家之變遷也。其所以必要者，在於舊制度之腐敗，與新制度之萌芽。當舊制度之腐敗，已達於極點，而新制度之萌芽，已見於民間。此時若不革命，則國家將陷於萬劫不復之境地。故革命之必要，在於救國之需要。且革命之成功，實為國家前途之保障，亦為民族生存之關鍵。故吾人對於此種革命，應持同情之態度，並予以必要之支持。

革命之必要，在於救國之需要。且革命之成功，實為國家前途之保障，亦為民族生存之關鍵。故吾人對於此種革命，應持同情之態度，並予以必要之支持。此種革命之舉，實為國家前途之保障，亦為民族生存之關鍵。故吾人對於此種革命，應持同情之態度，並予以必要之支持。

此種革命之舉，實為國家前途之保障，亦為民族生存之關鍵。故吾人對於此種革命，應持同情之態度，並予以必要之支持。



### THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES  
 THE HISTORY OF THE UNITED STATES  
 THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

#### THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES



THE HISTORY OF THE UNITED STATES



THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

THE HISTORY OF THE UNITED STATES



1. 1875

1. 1875  
 2. 1875  
 3. 1875

1. 1875  
 2. 1875  
 3. 1875  
 4. 1875  
 5. 1875

1875

1875  
 1875  
 1875  
 1875



一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...



... 臣等謹將... 奏為... 事... 伏乞... 聖鑒... 訓示... 謹奏

臣等謹將

奏為

奏為... 事

... 臣等謹將... 奏為... 事... 伏乞... 聖鑒... 訓示... 謹奏

臣等謹將

奏為

第一節 總論  
一、本報之宗旨  
二、本報之方針  
三、本報之方針  
四、本報之方針

本報之宗旨  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針

本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針

本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針  
本報之方針

這是一張圓形的圖，圖中有一隻鳥，牠正張著嘴，好像在叫喚。牠的羽毛是深色的，尾巴是淺色的。牠的腳是紅色的，正抓著一根樹枝。



這是一張圓形的圖，圖中有一隻鳥，牠正張著嘴，好像在叫喚。牠的羽毛是深色的，尾巴是淺色的。牠的腳是紅色的，正抓著一根樹枝。

這是一張圓形的圖，圖中有一隻鳥，牠正張著嘴，好像在叫喚。牠的羽毛是深色的，尾巴是淺色的。牠的腳是紅色的，正抓著一根樹枝。





一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

此圖為... 之圖



此圖為... 之圖

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論... 十一、論... 十二、論... 十三、論... 十四、論... 十五、論... 十六、論... 十七、論... 十八、論... 十九、論... 二十、論... 二十一、論... 二十二、論... 二十三、論... 二十四、論... 二十五、論... 二十六、論... 二十七、論... 二十八、論... 二十九、論... 三十、論... 三十一、論... 三十二、論... 三十三、論... 三十四、論... 三十五、論... 三十六、論... 三十七、論... 三十八、論... 三十九、論... 四十、論... 四十一、論... 四十二、論... 四十三、論... 四十四、論... 四十五、論... 四十六、論... 四十七、論... 四十八、論... 四十九、論... 五十、論... 五十一、論... 五十二、論... 五十三、論... 五十四、論... 五十五、論... 五十六、論... 五十七、論... 五十八、論... 五十九、論... 六十、論... 六十一、論... 六十二、論... 六十三、論... 六十四、論... 六十五、論... 六十六、論... 六十七、論... 六十八、論... 六十九、論... 七十、論... 七十一、論... 七十二、論... 七十三、論... 七十四、論... 七十五、論... 七十六、論... 七十七、論... 七十八、論... 七十九、論... 八十、論... 八十一、論... 八十二、論... 八十三、論... 八十四、論... 八十五、論... 八十六、論... 八十七、論... 八十八、論... 八十九、論... 九十、論... 九十一、論... 九十二、論... 九十三、論... 九十四、論... 九十五、論... 九十六、論... 九十七、論... 九十八、論... 九十九、論... 一百、論...



一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論... 十一、論... 十二、論... 十三、論... 十四、論... 十五、論... 十六、論... 十七、論... 十八、論... 十九、論... 二十、論... 二十一、論... 二十二、論... 二十三、論... 二十四、論... 二十五、論... 二十六、論... 二十七、論... 二十八、論... 二十九、論... 三十、論... 三十一、論... 三十二、論... 三十三、論... 三十四、論... 三十五、論... 三十六、論... 三十七、論... 三十八、論... 三十九、論... 四十、論... 四十一、論... 四十二、論... 四十三、論... 四十四、論... 四十五、論... 四十六、論... 四十七、論... 四十八、論... 四十九、論... 五十、論... 五十一、論... 五十二、論... 五十三、論... 五十四、論... 五十五、論... 五十六、論... 五十七、論... 五十八、論... 五十九、論... 六十、論... 六十一、論... 六十二、論... 六十三、論... 六十四、論... 六十五、論... 六十六、論... 六十七、論... 六十八、論... 六十九、論... 七十、論... 七十一、論... 七十二、論... 七十三、論... 七十四、論... 七十五、論... 七十六、論... 七十七、論... 七十八、論... 七十九、論... 八十、論... 八十一、論... 八十二、論... 八十三、論... 八十四、論... 八十五、論... 八十六、論... 八十七、論... 八十八、論... 八十九、論... 九十、論... 九十一、論... 九十二、論... 九十三、論... 九十四、論... 九十五、論... 九十六、論... 九十七、論... 九十八、論... 九十九、論... 一百、論...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



1911年11月11日 星期一 晴 11月11日 星期一 晴

今日无事 闲居

今日无事 闲居

今日无事 闲居 11月11日 星期一 晴

晴

今日无事 闲居 11月11日 星期一 晴

今日无事 闲居 11月11日 星期一 晴

晴

今日无事 闲居 11月11日 星期一 晴











此書之體裁，與前書無異。其內容之豐富，則較前書為多。其體裁之嚴整，則較前書為嚴。其內容之詳盡，則較前書為詳。其體裁之宏敞，則較前書為宏。其內容之深邃，則較前書為深。其體裁之精微，則較前書為精。其內容之廣博，則較前書為廣。其體裁之宏敞，則較前書為宏。其內容之深邃，則較前書為深。其體裁之精微，則較前書為精。其內容之廣博，則較前書為廣。

此書之體裁，與前書無異。其內容之豐富，則較前書為多。其體裁之嚴整，則較前書為嚴。其內容之詳盡，則較前書為詳。其體裁之宏敞，則較前書為宏。其內容之深邃，則較前書為深。其體裁之精微，則較前書為精。其內容之廣博，則較前書為廣。其體裁之宏敞，則較前書為宏。其內容之深邃，則較前書為深。其體裁之精微，則較前書為精。其內容之廣博，則較前書為廣。



此圖之體裁，與前圖無異。其內容之豐富，則較前圖為多。其體裁之嚴整，則較前圖為嚴。其內容之詳盡，則較前圖為詳。其體裁之宏敞，則較前圖為宏。其內容之深邃，則較前圖為深。其體裁之精微，則較前圖為精。其內容之廣博，則較前圖為廣。其體裁之宏敞，則較前圖為宏。其內容之深邃，則較前圖為深。其體裁之精微，則較前圖為精。其內容之廣博，則較前圖為廣。

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之 夫 德 之 於 民 猶 水 之 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之

德者本也  
民者末也

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之 夫 德 之 於 民 猶 水 之 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之

德者本也  
民者末也

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之 夫 德 之 於 民 猶 水 之 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 德 者 本 也 民 者 末 也 本 固 則 末 榮 末 榮 則 本 固 本 末 相 濟 而 道 行 道 行 而 德 立 德 立 而 民 歸 民 歸 而 國 治 國 治 而 天下 歸 之



此等學說，一經提出，即與舊學大異其趣。其所以與舊學大異者，在於其對於社會之認識，與舊學迥然不同。舊學之社會觀，多偏重於個人之修養，而忽視社會之整體。此等學說則不然，其視社會為一個有機體，個人之修養，必須與社會之發展相適應。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。

此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。

此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。此等學說之提出，實為中國思想史上一大變革之始。其後之新學，無不以此為基礎而發展。其對於社會之認識，亦由此而日益深入。

